

山田みやこの活動報告

令和元年10月26日(土)

全国自治体議員行財政研究会 社会保障フォーラムに参加

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

講師

NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン
一般社団法人 日本ケアラー連盟 牧野 史子氏

全国各地でケアラー支援条例に向けた動きがある。そこで本県においても早急に取り組む必要があると考え参加。

テーマ「ケアラー支援の現場から」

～介護者支援の現状と施策化に向けた動き～

ケアラーとは心や体に不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などをケアする人をいう。

・なぜケアラーに支援が必要か

- 1) きょうだい数の減少(一人で両親を見る)
- 2) 未婚(シングルのため一人で背負う)
- 3) 地域コミュニティの希薄化
- 4) 自分の将来への不安
- 5) ケアラーの高齢化と若年層の出現

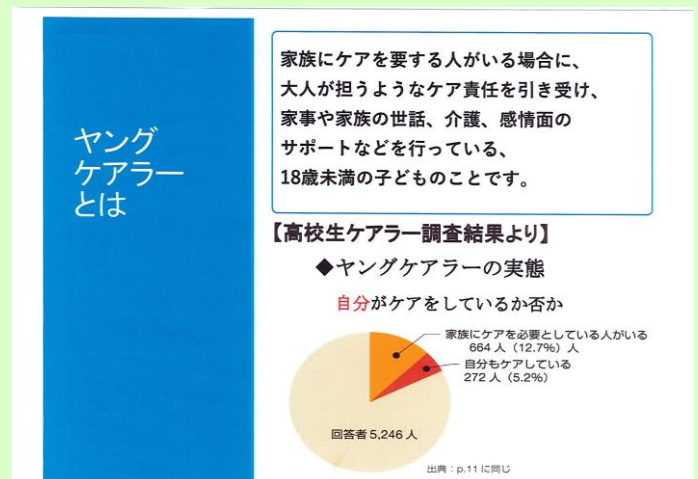
これらが原因で、ケアラーの孤独化・心身の健康が阻害。

近年男性ケアラーが増え、嫁ケアラーが激減。女性の介護は当たり前と捉えられてきたが、男性の問題として(介護離職など)捉えると大きな社会問題になる傾向がある。

2016年に行われた730人のケアマネージャー調査によると、殺人や心中が起きてもおかしくないが55%、ケアラーが心身ともに疲労困憊して追いつめられているが93%。介護殺人は1998年～2009年の12年間で5457件にもなる。介護疲れから逃げたい、将来に悲観し絶望しそのため虐待や殺人に至ってしまう。

・ヤングケアラーの問題

家族にケアを要する人がいない場合、大人が担うようなケア責任を引き受け、家族の世話や家事、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子どもの事を「ヤングケアラー」という。



・2017年 藤沢市調査

小学生・中学生がケアしている相手

母 41.7% きょうだい 47%

高校生がケアしている相手

祖父 22.6% 祖母 47.8%

ケアの頻度

毎日 33.5% 週に4~5日 11.8%

ケアの時間が1日4時間以上

学校のある日 14.3% 学校のない日 22.8%

生活への影響

遅刻 39.6% 欠席 56.3% 忘れ物 26.4%

宿題ができない 27.8% 学力が振るわない 41.7%

要介護者とケアラーをそれぞれ個人として位置付け、個別に支援する。介護の役割は担うことにより、生活を楽しんだり社会で活躍したりする機会が失われることを社会で解決すべき問題と考えるケアラー支援が必要。

元ヤングケアラーからの提言として

- ①総合的な相談窓口
- ②介護休暇制度取得の推進
- ③ヤングケアラーに対する理解
- ④勉学・就労やキャリア支援
- ⑤多様な働き方が可能になる
- ⑥同年代や年齢の近い相談者が必要

ケアラーを支援するための法制度がないためケアラーを取り巻く社会問題の解決にはケアラー支援法・ケアラー支援条例が不可欠である。

12月7日にケアラー支援フォーラム2019によいよ始まるケアラー支援条例に参加予定。いくつかの自治体での条例化の動きを調査する。

ヤングケアラーの実態調査 2017より

1. 小・中学校教員調査
…藤沢市内すべての小・中学校 特別支援学校 教員対象 (1,812票 回収率60.6%)

2. 高校生調査
…大阪府下 公立高校10校の生徒対象 (5,789人 有効回答数 5,246票)

《小・中学生のケアラーの実態》

▶約2人にひとりの教員がケアを担う子どもにも出会っています。【家族のケアをしているのではないかと感じた子どもがいる(いた)と回答】

《高校生ケアラーの実態》

▶20人にひとりは家族をケアしています。

▶介護の開始は、約7割は中学生から約4割は小学生からです。

▶ケアの相手は祖母が47.8%。ひとり親家庭が多い。

▶3分の1の高校生ケアラーは、毎日ケアをしています。

▶【「ケアをしていることを家族以外のだれかに話したことがある」と回答した】高校生ケアラーは約半数(45.2%)で友人が多い。

…ヤングケアラーはみえにくく 孤立している…

